

東京の博物館めぐりー34

豊島区ー3



平野 武宏

今回は豊島区の博物館めぐりの続きです。今までは池袋駅周辺の博物館でしたが今回の博物館は池袋駅から交通機関を利用して行きます。

右上の写真は「雑司ヶ谷霊園」の「夏目漱石のお墓」です。よく見るとひじ掛け椅子の形をしていて死後もゆっくりできるようにとの配慮とか。又当時では珍しい夫婦墓です。区内にある博物館(記念館・資料館・展示館等の総称とします)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「日光道中二十一次」の途中経過も報告します。

【豊島区立 雑司が谷旧宣教師館】 豊島区雑司が谷 1-25-5

最寄り駅 都電荒川線 都電雑司ヶ谷停留場

寅次郎のマイコースは駅から「雑司ヶ谷霊園」に入り、「夏目漱石のお墓」(右上写真)にお参りし、中央通りから霊園を出て、旧宣教師館通りを行きます。写真下左は建物正面、下右は裏庭から見た建物です。



1907年(明治40年)アメリカ人宣教師のマッカーレブが自らの居宅として建てたもので、豊島区内に現存する最も古い近代木造洋風建築であり、東京都内でも数少ない明治期の宣教師館とのこと。1987年(昭和62年)豊島区は区の登録有形文化財に登録し、さらに、特に重要な文化財として保存・活用を進め

るため 1992 年（平成 4 年）に区指定文化財としました。なお、旧宣教師館は「旧マッケーレブ邸」として 2000 年（平成 11 年）東京都指定有形文化財（建造物）に指定されました。写真下は館内です。



開館は 9 時～16 時 30 分。休館日は毎週月曜日、毎月第 3 日曜日、国民の祝日の翌日（翌日が日曜日の場合は翌週火曜日）、年末年始、臨時休館日です。

〔豊島区立 鈴木信太郎記念館〕 豊島区東池袋 5-52-3

最寄駅 丸ノ内線 新大塚駅 1 番・2 番

寅次郎の自宅からは歩いていけました。地下鉄の場合は駅からは地上に出て春日通りを横断、前の小道を下り、すぐに右折、進むと右側にあります。



鈴木信太郎はフランス文学研究者・教育者（東京大学名誉教授）として活躍しました。1928 年（昭和 3 年）建築の書斎棟（写真上右）、1946 年建築の座敷棟（写真上左）は豊島区指定有形文化財になっています。

部屋に上がり展示室（旧書斎）、茶の間、座敷を見学できます。

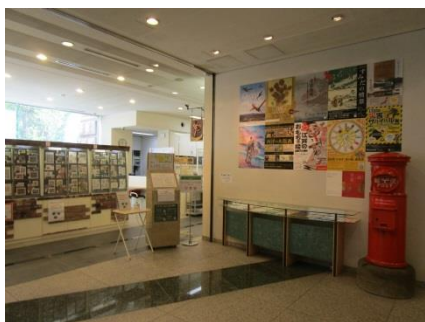
開館は 9 時～16 時 30 分。休館日は毎週月曜日（祝日と重なる場合はその翌日も）、第 3 日曜日、祝日、年末年始他です。

〔切手の博物館〕 豊島区目白 1-4-23

最寄駅 JR 目白駅

改札を出て学習院大学正門右脇の坂を下ると右手にあります。1988年（昭和63年）世界的に著名な切手収集家の水原明窓（めいそう）が私財を投じ郵趣を普及させる運営団体の財団を設立。1996年（平成8年）水原明窓の死後3年後に世界的に珍しい郵便切手専門博物館を自白にオープンしました。写真下左は入口（左の箱はポスト）です。

写真下右は1階展示室で「世界の国からコンニチワ」を開催中（11月29日まで）12月2日～2021年3月31日は「ベアーベアーベアー」展を開催。撮影許可は展示室の入口までです。



2階は図書閲覧室、水原記念館（書斎を再現）です。写真左は1階左手にある「世界の切手ショールーム」（入場無料）で販売もしていました。

開館は10時30分～17時。休館日は毎週月曜日、年末年始、展示替時です。

入館料は大人200円、小中学生100円。

【豊島区立 トキワ荘マンガミュージアム】 豊島区南長崎 3-9-22

南長崎花咲公園内 最寄駅 大江戸線 落合南長崎駅

「トキワ荘」（写真右）とは昭和20年代から30年代にかけて、手塚治虫、赤塚不二夫ら名だたる漫画家が下積み時代に過ごしたアパートです。建物は、老朽化に伴い1982年（昭和57年）に解体、モニュメントが残り、「漫画の聖地」として多くのファンが訪れています。跡地からほど近い南長崎花咲公園内に当時の姿を再現した「マンガミュージアム」（写真下左）が2020年7月7日オープンしました。





公園入口にある「トキワ荘のヒーローたち」の漫画家たちのプレート(写真左)です。
 上段:寺田ヒロオ、藤子・F・不二雄、藤子不二雄 A、鈴木伸一、森安なおや、
 中段:手塚治虫、右は2階見取り図、
 下段:石ノ森章太郎、赤塚不二夫、水野英子、よこたとくお

事前予約制なので混雑を避け、しばらく待っていましたが、企画展準備などでの臨時休館があり、寅次郎、11月5日10時の予約で訪問出来ました。
 玄関を入ると、当時の階段(写真下左)が再現されていて2階へ、突き当りが共同便所、隣が共同炊事場(写真下右)です。常設展示室は撮影不可でした。撮影可能エリアはメモでの案内があります。



以下は再現された撮影可能の個室です。写真下左は寺田ヒロオの部屋です。



右側の写真は山内ジョージの部屋ですが、隣室の石ノ森章太郎が仕事部屋に借りていたとこのことで机が二つあります。
 4畳半の部屋です。

1階では特別企画展「トキワ荘のアニキ 寺田ヒロオ展」が開催中(2021年1月11日まで)。2階は無料ですが、特別企画展は大人500円、小・中学生100円です。漫画家志望の若手の面倒を見てアニキと呼ばれた寺田ヒロオを知ることが出来ました。寺田ヒロオの漫画の原画が沢山見ることが出来、原画がこん

なにきれいなものかと驚きました。

開館は 10 時～18 時。休館日は毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示入れ替え期間です。事前予約はHPをご覧ください。

寅さん歩 125 東京のこんなところ-2 をご参照ください。

【こぼれ話】昔、豊島区大塚周辺は牧場でした！？

寅さん歩 319 東京発祥之地めぐり(学問・文化編 6)の【こぼれ話】で豊島区大塚は池袋をしのぐ花街で繁華街だった！？とお話ししましたが、寅次郎の住む豊島区大塚のもう一つの顔を新型コロナウイルス感染予防で外出自粛中の朝の散歩で見つけました。大塚三業通りを歩いていると、からたちの花の碑がある巣鴨教会の手前に写真下左の看板がありました。左の道は「東福寺」の山門(写真下右)に向かいます。



石段を上ると山門脇に案内板がありました。

「真言宗豊山派に属し、観光山と号す。創建の年代は明らかでないが永禄5年(1562)に良賢和尚が中興したと伝えられている。小石川大塚から元禄4年(1691)に当地へ移ってきた。山門前の石段左右には道標の役割をも兼ねる明治37年の庚申塚、明治43年の疫牛供養の碑(写真右)などがある。

以下略」と記載。疫牛供養碑は牛乳搾取業巣鴨支部の建てたもので家畜までに心を配った昔の人のやさしい気持ちが伝わります。巣鴨から大塚、池袋にかけては牧場が多く、明治から大正にかけての資料に豊島区には約50の牧場があったとのこと。

東福寺の隣も「桜木舎」、十文字学園(寅次郎の家の近く)は「天神山」という牧



場だったそうです。明治に入り牛乳が世に出っていますが、「土族の商法」として武士だった人が東京で牧場を持ったとの話もあります。本堂(写真下左)に行く手前にひざまずいて本を読む二宮金次郎(写真下右)に会いました。

昔、小学校で見た二宮金次郎は立って歩きながら本を読んでいたが・・・



〔バーチャルウォーク途中報告〕

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」を踏破し、同じ記録帖にある「日光道中二十一次」に挑戦です。11月25日、日本橋を出立、千住大橋を渡り、江戸に別れを告げ、千住宿、草加宿を過ぎ、11月30日、日本橋から3番目の越谷宿に到着です。

自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐり-35 です。

平野 寅次郎 拝